

イシグロ創業80周年さらに飛躍

総合配管機材商社 ナンバーワン目指す

成長戦略を積極推進

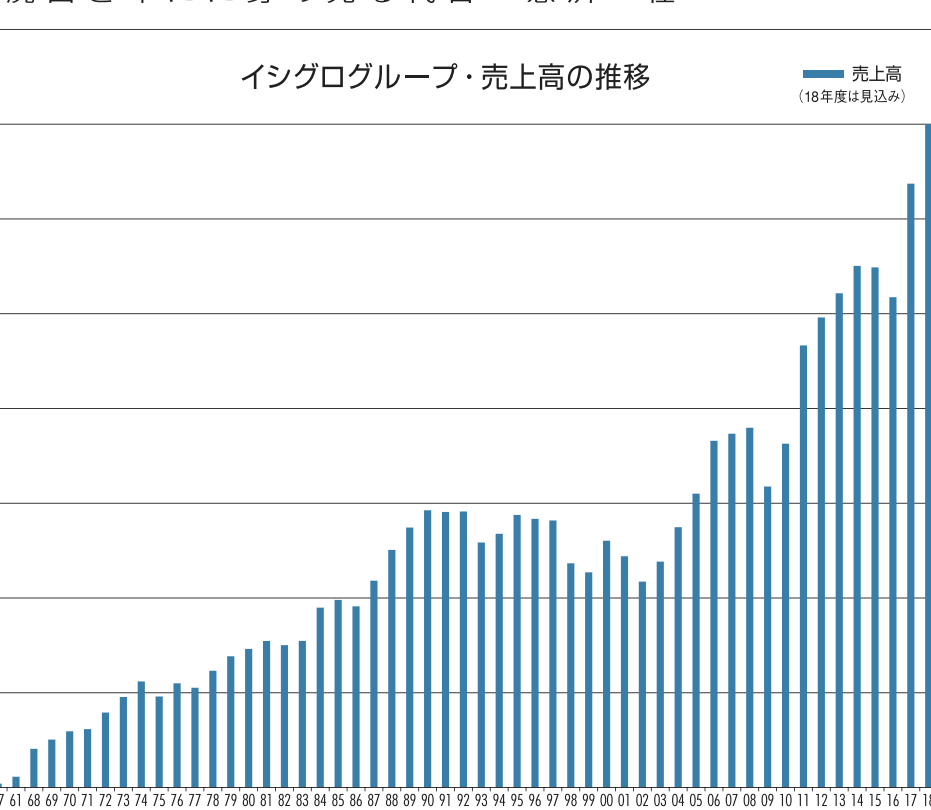
M&A、海外展開にも注力

イシグロ(本社・東京都中央区八丁堀、社長 石黒克司氏)は、2月に創業80周年を迎えた。総合配管機材商社としてナンバーワンを目指し、成長を続ける同社の軌跡と現在取材した。

【イシグロの軌跡】「土バルブ」ブランドを冠イシグロの前身である「土バルブ」の製造・販売石黒商店は1939年2月、現克司社長の祖父である石黒孔司社長の個人商店として東京都北区田端新町で創業。当初、バルブメーカーで、「月富

し、本社を東京都中央区八丁堀に移転。時代環境に合わせ、業態を販売業に転じた。2代目の石黒安廣社長は74年に就任。止め、93年に社名を「イシグロ」に変更。主力のバルブ、継手に加え、パイプや機器類などアイテムを拡充、大阪支店や福岡支店を開設するなど西日本へ拠点を展開した。89年に安廣社長が逝

【逆風下での社長就任から成長軌道へ】



グループ売上700億円へ 物流、営業基盤を拡充



最初に製造・販売した「月富士バルブ」



基幹倉庫の東京ステーション



業界最大級の大阪ステーション

合を進めつつ、一方で並行して各種研修制度の導入、人材育成システムの整備など、成長に向けた土台作りを進めた。

その後の中期経営計画では、「管材業界ナンバーワンを目指す」というビジョンの下、増員と拠点の拡大を積極的に行い、会社を成長軌道に乗せた。現在の克司社長就任時、217億円だった



石黒克司社長と石黒剛司専務

売上げは、18年度グループ全体で700億円を見込む。

【ファーストコールカンパニー】を目指し、現在、イシグロは、顧客に真っ先に声をかけてもらえる「ファーストコールカンパニー」をスローガンに、物流や営業基盤を拡充しつつ、「日本一の総合配管機材商社」としての歩みを着実に進めている。

物流面では、基幹倉庫が、全国の営業拠点倉庫である東京ステーションのバックヤードとしての機能に、17年には大阪に顧客ニーズに対応するための機能強化を実現している。

さらなる高みを目指し、挑戦を続けるイシグログループに、今後も注目していきたい。

【差異化の取り組み】他社との差異化戦略三つの柱として、プライベートブランド「アイバリー」、24時間365日インターネットで管材をワンストップで調達できるECサイト「イシグロウェブステーション」、土日祝日も営業拠点やコールセンターで注文を受け付け、即日または翌日には自社便で配送を行う「即行便」サービスなど、いずれも業界に先駆けて独自に商品・サービスを展開し、成果を上げている。

ISHIGURO
https://www.ishiguro-gr.co.jp/



繋いでいるのは、
信頼できる未来。

多くのお客様のご愛顧と、メーカー様からの多大なご厚意により、2019年2月、私たちは創業80周年を迎えることができました。今後も品質・サービスともに、より一層の信頼と満足をご提供できるよう未来に向けて、全社一丸となって努力し続けてまいります。

取締役社長 石黒 克司

〔本社〕〒104-0032東京都中央区八丁堀4-5-8 TEL:03-3552-2161 FAX:03-3551-5660
圧倒的な商品数と全国の物流拠点ネットワークで時代のニーズに応えます。

産業と暮らしを 繋ぐ、支える。
イシグロ株式会社